

授産場について（信仰と生活）

人生と結婚

以前の授産場の 2 階の祭壇

ド・ロ神父ゆかりのオルガン

救助院では、ド・ロ神父やここで働いていた女性は、とても質素な共同生活をしていました。ド・ロ神父は救助院の収益金を、貧しい人々や不幸な状況に陥った人々に分け与えていました。

ド・ロ神父は、救助院を生活や仕事を通じて救助院の女性の自立を手助けする場にし、ときには、結婚を希望する女性の結婚の支度を行う役割も担いました。資料によると、結婚するときには、白米を食べて他の人々と花嫁を祝うことが習慣となっていたようです。